

気賀っ子応援団

～気賀小コミュニティ・スクールだより～

第9号 令和5年6月



新しい時代のコミュニティ・スクールへ

校長 齊藤昌長

本年度、気賀小学校のコミュニティ・スクール（CS）は4年目を迎えます。学校運営協議会委員も新しくなりました。学校便りでもお知らせしましたが、150周年実行委員会の実行委員も兼務していますので、半数以上の方々に留任していただきました。よろしくお願いいたします。

宮崎 順孝 石川 隆久 長谷川 真奈美 ○田力 祐二 ○山田 真代子 木俣 契一
石田 潤司 ○伊勢 聖 小田木 真砂子 藤田 嘉代（敬称略 ○新しい委員）

最近、対話AI「ChatGPT」や「画像生成AI」の進化が話題になっています。その影響はインターネットの発明よりも社会に与える影響が大きいと言われ、予想を上回るスピードで生活の中に入り込んでいます。子供たちが大人になるまでに生活や仕事にAIは不可欠なものになるでしょう。SF映画で描かれているAIと人が共存する社会が現実になり、文書を作る、文や絵をかく、会話する…等は、AIに取って代わられるかもしれません。



こうした社会を生き抜くために必要なものは何でしょうか？学校では、ここ数年でタブレットPCが授業の中に入り、かなりのスピードでデジタル化が進んでいます。子供たちはプレゼンテーションを作って発表する、対話ソフトを使って意見交換をする等の機会が増え、デジタルコミュニケーションのスキルが向上しています。

しかし、これからは、「ひとものこと」とかかわる「リアルな体験」の重要性が増してくると思います。直接見る・触れる、異年齢の人と話すといった五感を使った直接体験は、人でなければできません。学校行事や校外学習、縦割り班活動等の協働的な学習活動は、こうした直接体験の幅を広げるものです。こうしたリアルな体験があるからこそ「人間らしさ」が育つのではないのでしょうか。

CSの仕組みを使うことで、子供たちの安全を確保しながら、様々な人々とのかかわりの中で直接体験の質が向上していきます。これは子供たちに限ったことではなく、私たち大人にとっても「リアルな体験」は必要です。子供たちと一緒に活動して、私たちも成長してみませんか？

この3年間で気賀小学校のCSは定着しつつあり、年々「気賀っ子応援団」に参加してくださる方が増えています。「アフター・コロナ」のCSの在り方を模索しながら、活動の質を高め、持続可能なものにしていきたいと思っています。150周年の今年、新しい気賀小学校をつくるために力を貸していただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



（この文章は、「Chat GPT」で作成したものではありません…）

今年度もボランティアの方々の御協力をいただき、CSの活動が始まりました。

1年生 あさがおの種まき



クラブ活動



5年生 はじめてのソーイング



5年生 ゆでて食べよう



6年生 野菜炒め



気賀っ子応援団、募集中！！

気賀小では、引き続き、授業支援のボランティアをしていただける方を募集しています。校外学習の引率補助・家庭科（ミシン・裁縫・調理実習）補助、絵本の読み聞かせ、休校日の花の水やりなど、興味のある方は気賀小学校CS担当もしくは学校支援コーディネーターへ御連絡ください。

また、今年度からさくら連絡網により保護者へのボランティア募集の連絡も始めました。日頃のお子様の様子を見るチャンスです。保護者の方からおじいちゃんおばあちゃんや近所の方にも御案内いただいても大丈夫です。ぜひ御応募ください。

気賀小学校 電話：053-523-0158